

平成28年1月26日

## 生徒朝礼講話

先週水曜日に続いて今日も雪が積もるといふ、とても寒い1週間でした。それなのに、毎朝、寒さに負けず、早い人は7時過ぎから登校して部活動を頑張る姿、とても嬉しく思っています。放課後も帰りの会が終わると、どんどん鍵を取りに来て、「部活動頑張っていますね。」と、教頭先生や花田先生と話をしています

「冬に鍛えた部が夏を制する。」と言います。部活動することを目標にするのではなく、練習で体を作り、技術を磨き、来年の総体、コンクール、クラブチームの試合、ぜひ勝ってほしいと思います。

「雪」についてお話をします。雪の結晶、見たことがありますか。六角形のとてもきれいな形をしていますね。19世紀、アメリカのベントレーさんという農家の方が、雪の美しさの虜になり、何枚も何枚も一生をかけて写真を撮りました。その数、5000枚以上。

後に、その写真を見た学者が驚いたんだそうです。5000枚の写真の中で、同じものが一つも無かったんです。雪の結晶の研究が始まりました。その結果、雪の中心になる粒、気温、湿度等で雪の結晶のでき方は変わってくるのが分かり、一つとして同じ結晶はないという結論になったそうです。

皆さんも136人それぞれです。一人として同じ人はいません。雪の結晶のようにそれぞれが美しさを持っています。その美しさを大切にして、より大きく育ててほしいと願っています。